

# 衆議院外務委員会ニュース

平成 23.12.7 第 179 回国会第 5 号

12月7日(水)、第5回の委員会が開かれました。

## 1 国際情勢に関する件

- ・玄葉外務大臣、山口外務副大臣、渡辺防衛副大臣、三谷財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 小川 淳也君(民主)

- ・玄葉外務大臣の外交理念を伺いたい。
- ・欧州危機に対して我が国としてどの程度まで関与するのか。
- ・国際公益及び国益の追求の観点から、途上国向けの円借款を大幅に拡大すべきではないか。

### 後藤田 正純君(自民)

- ・12月12、13日に予定されていた野田内閣総理大臣の訪中が延期されたのはなぜか。
- ・不適切発言で田中沖縄防衛局長が更迭された一方で、不適切発言を繰り返す一川防衛大臣が処分されないのはなぜか。
- ・環太平洋パートナーシップ(TPP)協定は、ブロック経済へ戻ることを意味し、自由貿易体制とは言えないのではないか。

### 小野寺 五典君(自民)

- ・野田内閣総理大臣の訪中が中国側の要請で突然延期されたことに対して、抗議する必要があるのではないか。
- ・普天間飛行場移設計画に係る環境影響評価書の提出のためには、沖縄県民から不信感を抱かれている一川防衛大臣は辞任すべきではないか。
- ・パレスチナ自治政府の国連加盟を巡る問題について、我が国はどのような姿勢をとっているのか。

### 笠井 亮君(共産)

- ・現在開催中の気候変動枠組条約第17回締約国会議で、京都議定書の延長に反対する我が国は孤立しているため、方針を見直すべきではないか。
- ・TPP協定交渉について、我が国の参加が認められる頃には条文が固まり、交渉の余地が乏しくなっている可能性があるのではないか。

### 服部 良一君(社民)

- ・サンフランシスコ講和条約に基づく著作権保護期間の戦時加算を解消すべきではないか。
- ・韓国政府が求めている従軍慰安婦問題に関する協議を我が国は受け入れ、同問題を完全に解決するべきではないか。

## 2 経済上の連携に関する日本国とペルー共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件(条約第1号)(参議院送付)

経済上の連携の強化に関する日本国とメキシコ合衆国との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件(条約第2号)(参議院送付)

- ・玄葉外務大臣からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。